

Web 版付録5 データの読み込みと呼び出し

5-1 外部データファイルの読み込み

<Windows 8 用>

【注意】 Web 版付録 5-2 と 5-3 は、別のリンクにあります。

R コマンダーは、テキストファイルや Excel ファイル等の形で作成されたデータのファイルを読み込んで、分析をすることができます。ここでは、Web 版付録 4 でダウンロードした“多変量解析データセット”のフォルダに含まれるデータファイルの読み込み方法を例にして説明します。

なお、以下の説明は、次のコンピュータ環境を前提にします。

- 基本ソフト (OS) : Windows 8
- ホームページ閲覧ソフト (ブラウザ) : インターネット・エクスプローラ 10 (IE10)
(初期設定のまま、個人的な設定を特にしていないこと)
- キーボード入力ができること (タッチキーボード機能による入力を含む)
- タッチパッドやマウスによるクリック操作ができること

【注意】 Windows 8 のタッチパネル機能だけでは、外部データを R コマンダーへ読み込むことはできません。

外部データファイルの読み込み方法

Web 版付録 4 でダウンロードした“多変量解析データセット”のフォルダに含まれる“キャットフード(ウェットタイプ)”というデータファイルを、Catfood01 という名前で R コマンダーに読み込む方法を例にして説明します。

1. “スタート”画面で右クリックをして、表示される「すべてのアプリ」をクリックします。“アプリ”画面に切り替わるので、“Windows アクセサリ”の選択肢から「ワードパッド」を選びます。簡易ワープロソフトのワードパッドが起動します。

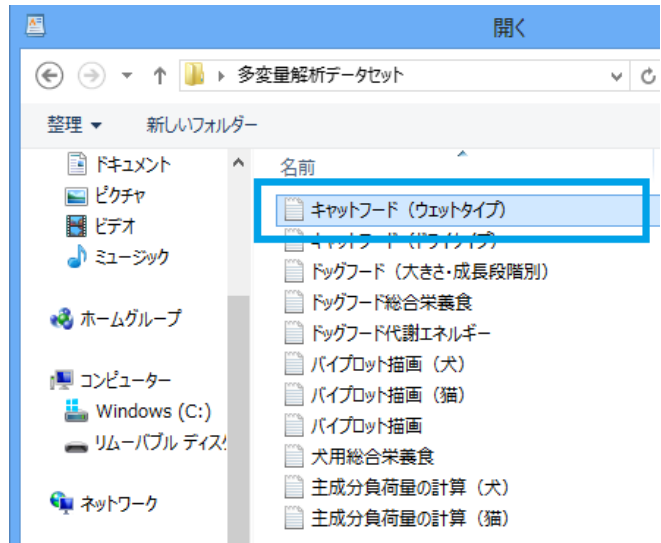
操作説明図 E-101

2. 操作説明図 E-101 にあるように、ワードパッドの左上にある「ファイル」をクリックし、表示される選択肢から「開く」を選びます。“開く”という名前のついたウィンドウが開きます。



操作説明図 E-102

- Web 版付録 4 で作成した“多変量解析データセット”のフォルダをダブルクリックすると、操作説明図 E-102 のウィンドウが開きます。その中にある“キャットフード(ウェットタイプ)”のデータファイルをダブルクリックすると、操作説明図 E-103 のように、ファイルの内容が表示されます。

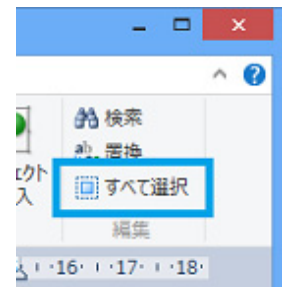


操作説明図 E-103

商品名	対象	タンパク質	脂質	粗灰分	粗繊維	水分	デンプン
食物繊維	アラキドン酸			オメガ 6 系不飽和脂肪酸	オメガ 3 系不飽和脂肪酸		
EPA+DHA	代謝エネルギー			<NRC85>	代謝エネルギー		<ロイヤルカナン実測値>
カルシウム	リン			ナトリウム	塩素	カリウム	マグネシウム
銅	鉄			マンガン	亜鉛	セレン	ヨウ素
ビタミンD3	ビタミンE			ビタミンB1	ビタミンB2		パントテン酸
カルシウム	ビタミンB6			ビタミンB12	ナイアシン		ビオチン
ルテイン	L-カルニチン				コンドロイチン		硫酸+グルコサミン
タウリン							
ベビーキャット	離乳期の子猫						
15	0.12	1.2	0.15	0.09	8.5	3.5	2
2					2	2	82
1.7							
NA	NA	3.7	23	6.8	22	0.27	0.5
45	290	115					
30	8	12	3	0.03	40	0.08	0.6
600							1.2
12							

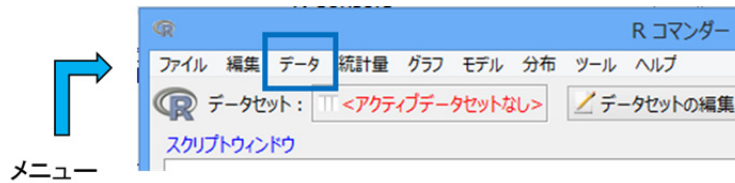
操作説明図 E-104

- 操作説明図 E-104 のように、ワードパッドのウィンドウの右上にある「すべて選択」をクリックして、データすべてを反転表示させます。



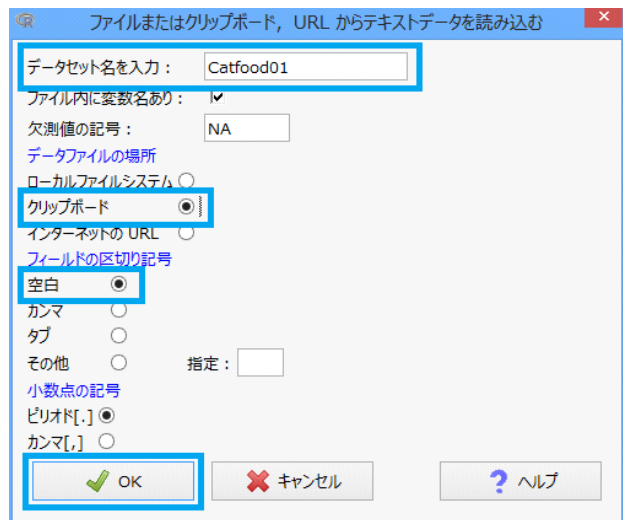
- 反転表示させたデータの上でマウスを右クリックし、「コピー」を選びます。
- ウェブ版付録 3 「R コマンドの起動と終了」の手順にしたがって、R コマンドを起動します。

操作説明図 E-105



7. R コマンダーのウィンドウ上部を表示した操作説明図 E-105 において、メニュー（ファイル、編集、データ、…、ヘルプと表示されている行）から「データ」を選び、表示される選択肢の中から「データのインポート」→「テキストファイルまたはクリップボード、URL から…」と進みます。操作説明図 E-106 のウィンドウが開きます。

操作説明図 E-106



8. 操作説明図 E-106 のウィンドウで、「データセット名を入力:」の欄に Catfood01 と入力し、**データファイルの場所**では“クリップボード”に印をつけ、**フィールドの区切り記号**は“空白”のままにします。その上で、左下の **OK** をクリックします。

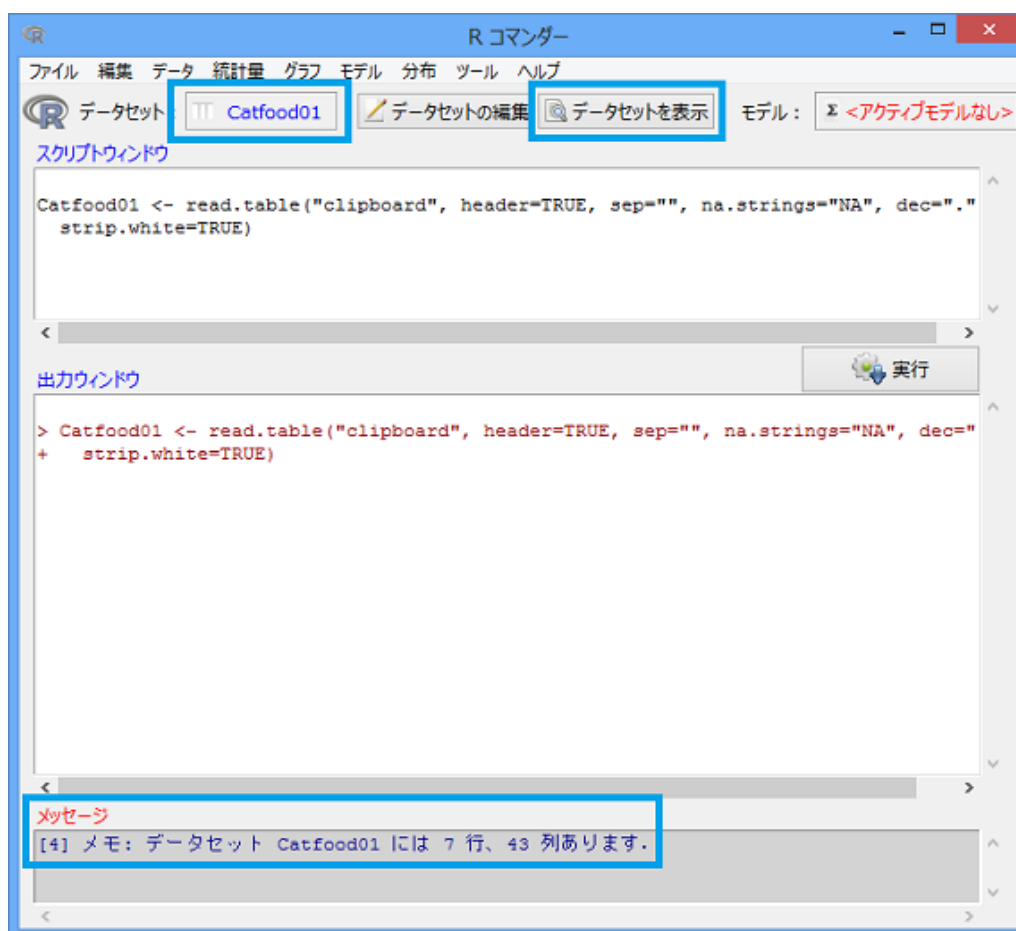
【参考】操作説明図 E-103 で見るデータファイルにおいて、データがカンマ “,” 記号で区切られている場合は（CSV 形式という）、手順 8 で**フィールドの区切り記号**の箇所を“カンマ”に印をつけます。

9. 操作説明図 E-107 のように、R コマンダーのウィンドウの「データセット:」の欄に Catfood01 と青で表示されれば読み込みは成功。また、読み込みが成功していれば、R コマンダーのウィンドウ下部にある“メッセージ”という箇所に次の表示が出ます。

メモ: データセット Catfood01 には 7 行、43 列あります。

ただし、行数と列数は、読み込んだデータファイルによって異なります。

操作説明図 E-107



10. R コマンドーのウィンドウ上部にある **データセットを表示** ボタンをクリックすると、読み込んだデータ内容を表示したウィンドウが現れます。そのウィンドウを見れば、データファイルが R コマンドーにきちんと取り込めているかどうかを確認することができます。